

## 県職交渉（2月交渉①）概要

- 1 交渉日 令和8年1月29日（木）
- 2 場所 審理審問室
- 3 出席者 【当局】 行政経営部長、人事課長外  
【組合】 委員長、副委員長、書記長外
- 4 議題 時間外勤務管理、人事異動、執行体制・組織再編、カスハラ対策、会計年度任用職員の休暇制度見直し

項目	組合主張	当局回答
時間外勤務管理	○時間外勤務の状況を踏まえて業務量を把握し職員の健康を守るという労務管理の認識が、管理職に理解されているのか。	○適正な管理はもとより、単なる時間数管理ではなく、時間外の状況を見ながらしっかりマネジメントするよう改めて徹底していきたい。
人事異動	○派遣する場合には、派遣先の勤務条件をしっかりと説明してくれ。 ○派遣先の勤務条件・職場環境について、派遣元として責任を持って改善を働き掛けてくれ。	○はい。 ○引き続きできることを考えていく。
執行体制・組織再編	○職場の年齢構成のバランスが悪い。人材育成が図られる職場にしてくれ。 ○組織再編の大きなものはないか。	○働きやすい職場環境の観点からもバランスの良い年齢構成になるよう考えていく。 ○現時点でお伝えできるものはない。
カスハラ対策	○県でも今後指針の整備が求められると思うが、どう対応するのか。職場で困っている者もいる。国の指針が示されたら、できるだけ早く対応してくれ。	○法改正を踏まえ、国が事業主が講ずべき措置に係る指針を策定すると聞いており、この内容等を踏まえ、できるだけ早く対応を整理したい。
会計年度任用職員の休暇制度見直し	○国に遅れることなく実施してほしい。  ○休暇内容の更なる拡大も求めている。引き続き検討してくれ。 ○PCが1人1台ない職場もある。本人が知らないことがないよう、周知してくれ。	○現在無給休暇とされている育児休暇及び短期介護休暇を、国と同様にR8.4から有給休暇としたい。 ○引き続き人事委員会とも話をしていく。  ○会計年度任用職員一人ひとりに伝わるようにしたい。